

## 科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 28 年 6 月 3 日現在

機関番号：24506

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2013～2015

課題番号：25360018

研究課題名(和文) タイの外国人児童に対する国際教育支援ネットワーク形成に関する研究

研究課題名(英文) Research on the International Education Network Formation for Foreign Children in Thailand

研究代表者

乾 美紀(寺尾美紀)(Inui, Miki)

兵庫県立大学・環境人間学部・准教授

研究者番号：10379224

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,800,000円

研究成果の概要(和文)：タイ、ラオス、ミャンマー、カンボジアの4ヶ国で3年間にわたり、越境児童の調査を行ったところ、それぞれ事情は異なるが、主に国境地帯において、国際NGO、国連などの国際機関、ローカルNGOがそれぞれの強みや得意分野を生かしながらネットワーク形成を行い、越境児童の教育アクセスを改善していることが明らかになった。特に、越境労働者の送り出し側の担当局が越境前に越境者に教育関係の情報を提供しておくことが、移住先での教育アクセスを得やすくするポイントであることが明らかになった。

研究成果の概要(英文)：Reflecting continuous research conducted in four countries, Thailand, Cambodia, Lao PDR, Myanmar and Cambodia, it was found that the international players such as international NGOs, UN organizations and local NGOs have engaged in network formation with making full use of their strength and advantages, and improve the education access of cross-border children. Especially, the key point of obtaining education access for migrant workers in the settled countries is that the officials of the sending countries provide migrant workers with education related information before crossing borders for the better education access of their children.

研究分野：比較教育学

キーワード：越境児童 教育支援 ネットワーク形成

#### 1. 研究開始当初の背景

タイには 1990 年代後半より、ミャンマー、ラオス、カンボジアなどから豊富な就労機会を求めて 100 万人以上の外国人就労者が流入している。その子供の数は、全国で数 10 万人と推定されるが、彼らのタイでの就学率は 2、3 割に過ぎない。多くの児童は、不就学であり、十分な教育支援を受けていないことが問題になっていた。

#### 2. 研究の目的

東南アジア地域の外国人児童の問題は、近年になって国際協力分野で注目されたが、国際支援・協力を切り口とした研究は希少である。そこで本研究では、ミャンマー、ラオス、カンボジアからタイに流入している子どもたちへの教育支援課題を多面的に分析し、学校内外の多様なアクターが作る国際支援ネットワークの形成要因とその役割を解明することを目的とした。

#### 3. 研究の方法

各分担者または連携研究者がタイとの国境（ミャンマー、カンボジア、ラオス）にて調査を行い、越境労働の形態、子どもたちの教育アクセス、家庭の労働状況などを調べたうえで、国際 NGO やローカル NGO が形成する支援ネットワークについて、当事者にインタビューを実施した。特に、本研究では、教育アクセスの問題を、学校外の諸要因（行政、家族）など複合的な相互関連の枠組みから研究することとした。

#### 4. 研究成果

タイ、ラオス、ミャンマー、カンボジアの 4 ヶ国で 3 年間にわたり、越境児童の調査を行ったところ、それぞれ事情は異なるが、主に国境地帯において、国際 NGO、国連などの国際機関、ローカル NGO がそれぞれの強みや得意分野を生かしながらネットワーク形成を行い、越境児童の教育アクセスを改善してい

ることが明らかになった。特に、越境労働者の送り出し側の担当局が越境前に越境者に教育関係の情報を提供しておくことが、移住先での教育アクセスを得やすくするポイントであることが明らかになった

#### 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計 6 件)

Shoraku Ai and Yoshiko Tonegawa,

Local response to school-based management reforms in Cambodia in the Asian context  
Journal of Kagawa University International Office, Vol.7、査読あり  
2016、近刊(頁数未定)

Miki Inui,

Hmong Women and Education: Challenges for Empowerment in the Lao PDR, Hmong Studies Journal, Volume 16、査読有、2015、pp.1-24.

野津隆志、現場生成型の異文化間教育学研究の可能性 - 現場に根差し変革を追求する研究、異文化間教育、第 43 号、査読なし、2015、pp.80-89.

乾美紀、梯穂乃香、学生団体による国際教育協力の可能性 ラオス教育支援団体の活動に着目して、国際教育協力論集、第 18 巻、査読なし、2015、pp.79-90.

Tadayuki Kubo,

Transnational "Myanmar" -Karenni Societies in United States : Experiences of Karenni Refugee Resettlement. *The Journal of Sophia Asian Studies* 32, 査読あり、2014、pp.97-112.

久保忠行、難民受け入れの「意図せざる排除」 共在 のパラダイムに向けて、理論と動態、7号、査読あり、2014、pp.117-133.

〔学会発表〕(計9件)

乾 美紀、支援ネットワークがもたらす村人の教育意識の変化～ラオス教育支援団体の比較研究の試み～、日本比較教育学会第52回大会、2016年6月25日発表予定、大阪大学(大阪府豊中市)

Miki Inui、Educational Disparity by Ethnic and Regional Perspective -Focus on Hmong Women in Lao PDR, Sixth International Conference for Hmong Studies, March 19<sup>th</sup>, 2016, Concordia University (米国: ミネソタ州セントポール)

乾美紀、ラオスにおける教育アクセスの経年的動向 - 民族間格差・地域格差に着目して、2015年6月13日、日本比較教育学会 第51回 宇都宮大学(栃木県宇都宮市)

Miki Inui, Yuki Ohara, Jun Kawaguchi, Kazuo Kuroda, Approaches to “Inclusive Education” in Developing Countries Case Studies: Lao PDR, India and Malawi, International Council on Education for Teaching (ICET) 59th World Assembly. June 20, 2015, Naruto University of Teacher Education (徳島県鳴門市)

正楽藍、カンボジア前期中等教育の学校改善の脆弱性に関する研究、日本比較教育学会第52回大会、2016年6月25日、大阪大学(大阪府豊中市)

Ai Shoraku and Yoshiko Tonegawa  
School-based Management in Primary Schools: The Case of Cambodia  
The International Education Development Forum 2015 2015年11月13日 早稲田大学(東京都新宿区)

久保忠行、多元的結合と下からの共生 アジアにおける移民・難民の視座、日本文化人類学会第49回大会、2015年5月30日、大阪国際交流センター(大阪府大阪市)

乾美紀、野津隆志、メコン川流域における労働移動と教育支援ネットワークの形成 タイ・ラオス・カンボジアを中心として、日本比較教育学会第50回大会、2014年7月13日、名古屋大学(愛知県名古屋市)

正楽藍、東南アジア諸国における学校を基盤とする経営に関する研究 タイ・カンボジア・インドネシアを事例として、日本比較教育学会第49回大会、2013年7月6日 上智大学(東京都千代田区)

〔図書〕(計5件)

白川千尋・石森大知・久保忠行(編)、多配列思考の人類学-差異と類似を読み解く、風響社、2016、388.

Miki Inui  
Cultural Diversity and International Education (Lecture Note Series), Union Press, 2015、77.

久保忠行、難民の人類学 タイ・ビルマ国境のカレンニー難民の移動と定住、東京：清水弘文堂書房、2014、356.

久保忠行、第三国定住難民と私たちとの  
接点はどこにあるのか：第三国定住者をめぐる  
包摂と排除、内藤直樹・山北輝裕（編著）、  
社会的包摂／排除の人類学：難民・開発・福祉、  
昭和堂、2014、255.

野津隆志、タイにおける外国人児童の教育  
と人権 - グローバル教育支援ネットワーク  
の課題、Bookway、2014、249.

〔産業財産権〕  
出願状況（計 件）  
なし

取得状況（計 件）  
なし

〔その他〕ホームページ等  
[中間報告書]  
乾 美紀、タイの外国人児童に対する国際教育  
支援ネットワークに関する研究、（平成 25  
年～27 年度科学研究費補助金基盤（C）  
課題番号 25360018、研究成果中間報告書  
以下のホームページより、ダウンロード可  
<https://sites.google.com/site/inui0704/>

## 6. 研究組織

### (1) 研究代表者

乾 美紀 (INUI Miki)  
兵庫県立大学環境人間学部准教授  
研究者番号：103792241

### (2) 研究分担者

野津隆志 (NOTSU Takashi)  
兵庫県立大学経済学部 教授  
研究者番号：402183341

### (3) 研究分担者

正楽藍 (SHORAKU Ai)  
香川大学 インターナショナルオフィス  
講師  
研究者番号：40467676

### (4) 連携研究者

久保忠行 (KUBO Tadayuki)  
大妻女子大学 比較文化学部 講師  
研究者番号 10723827